


## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立弘前第一養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input checked="" type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	販売学習をしよう（作業学習）		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売学習をとおして、自分たちの作った製品を買ってもらう喜びを味わう。</li> <li>・販売、接客の仕方を覚える。</li> </ul>		
学習集団と実	学部・学年・人数	中学	部	1～3 年 9 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 普通学級に在籍する1～3学年までの9名で構成される。実態は様々で、言語指示に応じて行動できる生徒、個別対応が必要な生徒がいる。 今回使用した「レジスタディ」は、主にタブレット端末やスマートフォンを使用できる生徒を選抜して使用した。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 i P a d		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 レジスタディ	アプリマーク 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 ) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 )		
	ICT活用のねらい	商品一覧を見たり、生徒の役割を細分化して計算機で売り上げの計算をしたりしていたが、レジスタディを使用することで生徒の計算の打ち間違いがあっても生徒自身が修正できたり、売り上げの確認ができるため使用した。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 作業学習で販売学習に向けて、製品の写真を取り込んだり、商品名や値段を入力したりした。購入された商品を選択することで合計金額自動計算され、受け取ったお金を選択することでおつりも自動計算されるので、計算が苦手な生徒でも会計係の仕事を担当できた。			